

JENESYS2018 ASEAN 招へいプログラム第 25 陣の記録

日本文化交流

対象国：インドネシア、東ティモール、フィリピン、ブルネイ

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2018」の一環として、インドネシア、東ティモール、フィリピン、ブルネイの日本語を学習する大学生 91 名が、2019 年 3 月 5 日～3 月 13 日の日程で来日し、「日本文化交流」をテーマとしたプログラムに参加しました。

一行は、都内にて日本理解講義を聴講後、各国別のグループに分かれ、インドネシアとブルネイは長野県、東ティモールは福井県、フィリピンは山形県を訪問しました。各訪問地では、歴史的建造物等の日本文化及び地域産業の視察、ホームステイ等の体験を行い、地域の人々との友好の絆を育むとともに、広く日本についての理解を深めました。また、一行は、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。帰国前には、外務省へ表敬訪問し、その後の成果報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】4 か国・91 名

（内訳）インドネシア大学生 23 名、東ティモール大学生・社会人 22 名、フィリピン大学生 23 名、ブルネイ大学生 23 名

【訪問地】東京都、長野県（インドネシア・ブルネイ）、福井県（東ティモール）、山形県（フィリピン）

2. 日程

3月5日（火）来日、【オリエンテーション】

インドネシア・ブルネイ：【文化視察】江戸東京博物館、浅草寺

東ティモール：【文化視察】皇居、二重橋

3月6日（水）【日本理解講義の聴講】講師：拓殖大学教授 赤石 和則 氏

インドネシア・ブルネイ：【学校交流】芝浦工業大学豊洲キャンパス

東ティモール：【文化視察】江戸東京博物館、東京都庁・全国観光PRコーナー・展望台

フィリピン：【文化視察】江戸東京博物館

3月7日（木）

インドネシア・ブルネイ：東京都から長野県へ移動、【地域概要の聴講】白馬村

【ホームステイ】（北安曇野郡白馬村）

東ティモール：東京都から福井県へ移動、【学校交流】国立福井大学

フィリピン：東京都から山形県へ移動、【地域概要の聴講】米沢市、【文化視察】上杉博物館・上杉神社

3月8日（金）

インドネシア・ブルネイ：【ホームステイ】（スキー体験等）

東ティモール：【地域概要の聴講】福井県庁、【文化体験】名勝養浩館庭園（茶席及び日本庭園）竹とんぼ作り（越前竹人形の里）【文化視察】丸岡城
 【ホームステイ】（福井県福井市）
 フィリピン：【文化体験】笹野一刀彫絵付け（お鷹ぼっぼ）【学校交流】九里学園高等学校、【ホームステイ】（山形県米沢市）

3月9日（土）

インドネシア・ブルネイ：【文化体験】おやき作り、【文化視察】善光寺、【文化体験】白馬五竜スノーフェスティバル
 東ティモール・フィリピン：【ホームステイ】

3月10日（日）

インドネシア・ブルネイ：【地域産業視察】スキージャンプ台、【文化体験】着物着付、書道【ワークショップ（報告会準備）】
 東ティモール：【地域住民・関係者との歓送会】、【地域産業の視察】道の駅（地元農産物の直売所）【ワークショップ（報告会準備）】
 フィリピン：【地域住民・関係者との歓送会】、【ワークショップ（報告会準備）】

3月11日（月） 地方から東京都へ移動、【成果報告会】

3月12日（火） 帰国

3. 記録写真

全グループ（訪問地：東京都）

		
3月6日【日本理解講義の聴講】	3月6日【文化視察】江戸東京博物館	
		
3月6日【学校交流】 芝浦工業大学豊洲キャンパス	3月6日【文化視察】浅草寺	
		
3月12日【成果報告会】		

【インドネシア】(訪問地：長野県)

	
3月7日～8日 【ホームステイ】スキー体験	3月9日【文化体験】おやき作り
	
3月9日【文化視察】善光寺	3月10日【文化体験】書道
	
3月10日【文化体験】ゆかた着付け	3月10日【地域住民・関係者との歓送会】

【東ティモール】(訪問地：福井県)

	
3月7日【学校交流】国立福井大学	3月8日【文化体験】茶席(名勝養浩館庭園)
	
3月8日【地域概要の聴講】福井県	3月9日【ホームステイ】餅つき

【フィリピン】(訪問地：山形県)

	
3月7日【地域概要の聴講】米沢市	3月7日【文化視察】上杉神社
	
3月8日【文化体験】笹野一刀彫絵付け (お鷹ぽっぽ)	3月8日【学校交流】九里学園高等学校
	
3月9日【ホームステイ】	3月10日【地域住民・関係者との歓送会】

4. 参加者の感想(抜粋)

インドネシア学生

日本理解講義では、日本のこれまでの取組と課題について説明を受け、また、ブレインストーミングの時間もあり、とても充実していましたので、良かったです。「より良い自分/国になりたいければ、まず自分自身に敬意を払うこと、自分自身に敬意を払わない者/国は他からの敬意を得られない」という先生のメッセージが強く印象に残っていて、忘れてはいけないと思いました。

インドネシア学生

白馬村役場による地方概要の説明は、素敵な音楽、ビデオを駆使したもので、大変惹きつけられました。また、概要説明の最後には村のシンボルキャラクターである白馬「村男ⅠⅠ」のバッジをいただきました。村の魅力紹介は、内容が大変充実していて、コンセプトが明確で印象的なものでしたので、将来また白馬村に再来村したいという気持ちが高まりました。

インドネシア学生

スキーは難しかったけれど、とても楽しくて、一生忘れられない思い出になりました。また、私たちにスキーを指導してくれたボランティアの学生さんも大変親切で、最も印象的だったのは、なかなかうまくならない私に対し、とても辛抱強く教えてくれたことです。

東ティモール社会人

日本理解講義から、日本政府が僻地の教育のために、赴任する教師の給料を高くし、必要なものを用意し、僻地にも教育が行き渡るようにしたことを学びました。このことで、日本政府が将来のために教育分野に投資をしたということを学んで非常に感銘を受けました。福井県の概要の講義では、農業と観光分野を発展させるために行ったことを聞き、素晴らしいと思いました。県庁はシステムの方権化を行い、地域に実行する権限を与えていました。ホームステイでは日本の家族に暖かく迎えてもらい、私たちにとって居心地がよいと思わせてくれるように気遣ってくれて嬉しかったです。

東ティモール学生

福井県の滞在は、自分の故郷にいるようでした。福井県では、日本の食べ物を料理したり、トイレをどう使うかを覚えたり、家に入るときは靴を脱ぐことや、食事の前に「いただきます」と言うことや、ひらがなで自分の名前を書くことを学びました。日本で学んだことは私にとって新しいことばかりで、自国に帰ったらこの経験を実行したいと思います。日本で学んだことを友人と共有もしたいです。日本での8日間は、日本人と過ごせて本当に幸せでしたし、福井大学での交流もとても楽しかったです。

東ティモール社会人

福井大学との交流で、留学生と地域の学生がいることに感心しました。彼らは友好的で東ティモールの私たちと楽しく過ごしてくれました。美しい山がある福井県の殿下地区で、ホームステイをした時、きなこ餅を食べました。ホストファミリーはフレンドリーで、私たちを大切にしてくれました。神社や森にも連れて行ってくれましたし、殿下地区の美しい温泉にも連れて行ってくれました。家族専用のきれいな自動車を持っていました。最後に福井県の人たちが東ティモールのエルメラ県での給水設備を寄付してくれたことに感謝しています。東ティモールに協力をしてくれて、ありがとうございます。

フィリピン学生

日本の学生と過ごした時間は楽しかったです。言語の障壁にもかかわらず、電子翻訳機を駆使して一緒に笑ったり、様々なことについて話すことができました。とても大きな体験だったので、私は、日本で勉強しようと思いました。

フィリピン学生

日本理解講義により、私は日本文化がアジアだけではなく、世界に貢献していることを知りました。また、他の文化を愛するためには自国の文化を愛さなければいけないことを強調されたことがよかったです。また、米沢の市役所を訪問した時、市長から地域の観光および産物について紹介してもらいました。市長は米沢は寒いところだけど、人々の心は温かいのだと言っていました。確かにそのことを、私は米沢滞在中に感じました。

フィリピン学生

私としては人と人との交流を目的としたホームステイがもっとも有意義だったと思いました。ホームステイを通して、海外の人が日本の生活様式や生活水準を、そして日本人がどういう人たちなのかを理解することができると思います。日本の家族の皆さんのゲストに対する温かい歓迎は、とても印象的で日本との大きな絆を感じさせてくれました。

ブルネイ学生

日本理解講義で、日本の文化、歴史、時事問題を、より深く理解することができました。日本という国がよりはっきりと見えました。ブルネイは日本から多くのことを学べると思

いました。特に生活様式から学べることが多いと思いました。学校交流プログラムでは、日本人はなんと一生懸命に働き、統率がとれているのだろうとを思いました。興味深かったのは大学二年生の時点で就職活動の準備をしていることです。学校が提供している施設も印象的でした。白馬村での滞在時は、村の歴史や現地事情をよく学びました。人口が8,600人しかいないのに、毎年、国内外から数百万人もの観光客が来ていると聞いて驚きました。村の観光協会は、村、スキー、スノーボードや宿泊施設のプロモーションを上手に行っているのだと思います。スキー場ではスノー・フェスティバルまで行い、とても印象的できれいで、感激しました。

ブルネイ学生

ホームステイ体験は素晴らしいものでした。私のホストファミリーはおいしい日本食をいつも用意してくれました。夕食後にはいつも何かを体験させてくれました。ホストファミリーによる短い三線のライブ演奏、自分で作るお寿司、おりがみ、日本のお風呂体験や電車に乗り白馬村を回ったりしました。スノー・フェスティバルはとてもきれいで、海外からの訪問客を魅了していました。着物や書道体験は、主催者にとっても歓迎されて、より楽しい思い出になりました。

ブルネイ学生

白馬観光協会のプレゼンテーションはとても素敵で、白馬村を上手にプロモーションしていました。その方法を使えば、私たちの国のプロモーションも更によくなると思いました。ホームステイ体験は素晴らしい経験でした。日本人家庭がどのように日々を過ごすか理解することは興味深く、貴重な思い出を、日本人家族と一緒に作ることができました。日本文化や習慣は、私たちが想像していたものと全く異なっていたので、私たちの今後生活に何らかの良い影響があると思います。

5. 受入れ側高等学校の感想（抜粋）

ホストファミリー（白馬村）

日本語、日本に対し、大変興味を持っており、日本語も少しわかるようで、交流は楽しく進みました。彼らの国情や教育の環境状況などがよくわかり、大変有意義な交流でした。

学生（国立福井大学）

書道体験のブースで手伝いをしていた時に、訪日学生の名前を漢字に変換して書いてプレゼントしたら、とても喜んで、私の書道をお手本に、自分の名前を漢字で書いていたので嬉しかったです。最後のダンス交流では、お互いの心が一つになれた気がしました。

ホストファミリー（米沢市）

今回の学生は、2017年のホストファミリーとして受入れをした時の学生の友人だったので、この偶然に驚きました。米沢の地域文化、日本の日常生活の体験を通して、彼らにとって一生、心に残る思い出になると思います。近いうちにフィリピンを訪問し、彼らと交流したいと思います。



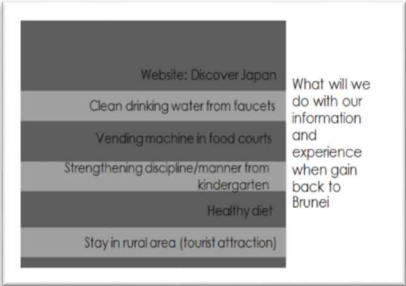
学校関係者（芝浦工業大学）

日本の学生は英会話レッスンの受講者や海外留学プログラム経験者が大半でしたが、学習した英語を使用する機会があまりないという学生も多くおり、そうした学生のニーズに応えられたと感じます。訪問した学生の中には本学の協定校の在学生もあり、何名かの学生から本学への留学について質問があり、双方にとって良いプログラムだったと思います。

6. 参加者の対外発信

	<p>(インドネシア学生)</p> <p>日本のこと忘れません。JENESYS プログラムに参加する機会をくれてありがとう。</p>
	<p>(東ティモール)</p> <p>福井県の殿下地区で、素敵なホストファミリーと過ごす時間は、素晴らしいものでした。日本の生活様式を学び、とても幸せな県、福井県で過ごせて、すべてが素晴らしかったです。</p>
	<p>(フィリピン学生)</p> <p>今日新しい友人ができました。間違いなく米沢で最高の瞬間です。また逢う日まで。</p>
	<p>(ブルネイ学生)</p> <p>江戸東京博物館で、江戸時代から近代の日本について学びました。また、時代を通じて文化や技術の進展を知り、日本の成長に、とても驚かされました。</p>

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表（抜粋）

	<p>【インドネシア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JENESYS 同窓生が主体となり、DAB（規律、評価、清潔）への関心を高め、それを活かした人格形成を行います。これは、オンラインとオフラインの両方でキャンペーンを行います。 ・ 親の世代、先生、私たちより若い就学年齢の学生を対象に、セミナーなどを開催します。
	<p>【東ティモール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 首都ディリの河口の地域で、廃棄物管理を市民で進めていきます。 ・ 日本のどこを見てもきれいに保たれているのを見て、私たちも個人が気を付け、他の人たちにも環境をきれいに保つことが大切だと伝えたいと思います。
	<p>【フィリピン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロビー活動により出来るだけ早くフィリピンの多くの高齢者に、生きがいの機会を与えます。 ・ 出来るだけ早くすべての国民に教育を、特に僻地の人々まで普及させます。
	<p>【ブルネイ】</p> <p>帰国後、私たちの新しい知識と経験から、ディスカバー・ジャパン（日本発見）のウェブサイト立ち上げ、ブルネイとの違いや日本を紹介します。コンテンツは、以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蛇口から安全な水がでることについて ・ フードコートでの自動販売機について ・ 規律の強化と幼稚園からのマナー習得について ・ 健康な食事について ・ 田舎に滞在（観光の魅力）について